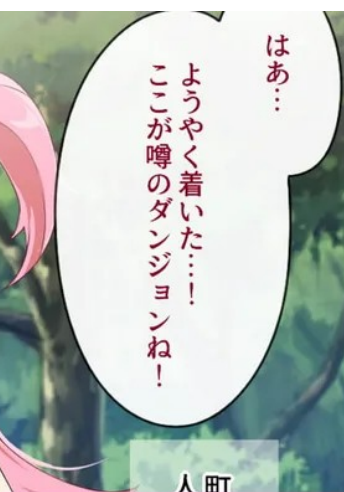




魔法少女
苗床ばつとえんど！
～VSエロ調教ダンジョン～

基本:15枚
本文:105枚
総枚数:210枚



行方不明になった仲間達を救うため、とあるダンジョンに足を踏み入れた魔法少女・アンナ。

しかしそこには魔法少女を苗床として利用する恐ろしい魔物が潜んでいて...

「魔法少女よ、貴様にはこれから我らの試練に挑戦してもらう」

魔法少女を調教すべく仕掛けられた数々の試練に挑むこととなったアンナ。

果たして彼女は魔物の調教に耐え抜いて無事仲間を助け出すことが出来るのか...



はあ…

ようやく着いた…!!
ここが噂のダンジョンね!

町外れの森の奥深く。
人里離れた場所に建つこのダンジョンには、ある噂があった。

なんでもこのダンジョンには強力な魔物が住み着いており、
討伐に向かった魔法少女が誰一人として帰還していないらしい。

挙句彼女らの安否を確認すべく
派遣された調査部隊からも連絡が途絶え、
いつしかミイラ取りがミイラになることを恐れて
誰も足を踏み入れなくなってしまうたそうだ。



町のみんなには
危ないって止められたけど…
でも、そんな危険な魔物なら
なおさら放っておけないわ

今はまだ大人しく
してるみたいだけど、
町に現れたら
それこそ一大事だしね

新米だけど…
私だって立派な
魔法少女だもの！

みんなの平和のために
絶対退治してやるんだから！



昼間だって言うのに
ずいぶん薄暗いわね…

それになんだか
妙にじめじめして…

おやおや
これは久々の客人だ

っ！

誰かいるの!?



その気配：
あなた人間じゃ
ないわね

いかにも
我らは触手族
このダンジョンの
主である

人語を解する魔物、って
とんでもない上級魔族じゃない……！
これは一筋縄じゃいかないな……

一つ質問しても
いいかしら

あなたさっき
久しぶりの客人だと
言ったわよね



単刀直入に聞いわ
私の前に訪れた
魔法少女たちを
どうしたの？

ふむ…
殺してはない、
とだけ言っておこうか

…どういふこと？

なに、お前も
いずれ身をもって
知ることになるさ

そんなことより…
敵陣で足元を
疎かにするのは
危ないんじゃないか？

へ？
…っ!?

なに…!?
急に足元が
ぬるついて…っ!



っう
……なっ!?

ああ

言わん
こっちゃない

な、す、スライム!?
なんてところに……!

足を滑らせたぬめりの正体は、
どうやらスライムだったらしい。

私が倒れこんだのをいいことに、
奴らは足元から身体を這いあがってきた。
際どい部分をぬるぬると這い回られて、
布越しと言えど不快感に
肌が粟立つのを感じる。

くっ…
舐められたものね！

こんな反射で
動くだけの低級魔族、
魔法で焼き払って…

…あ、あれ？

なんで…!?

魔法が
使えない…!?

いつものように魔法を発動しようと試みるも、
なぜか魔力を放出することが出来ない。
半ばパニックになりながら何度も試したが、
無情にも結果は変わらなかった。

くく…
気が付いた
ようだな

あなた、
一体何をっ…
ひんっ！

や、やだっ…！

乳首と、
クリ…
つままれてるっ…

どんっ♡

かぶっ♡

ちゅぽ

ちゅっ

ちゅる

ちゅ

このダンジョンには
結界を張っているのだよ

貴様ら魔法少女の
魔力を制限する、
特製の結界をな

なん、
ですって…！？

こ、この
卑怯者…!

みんなの事も
こうやって
陥れたのね…!?

あうっ♡

人間きの
悪いことを言う

我らは自らの能力を
活かして戦っただけだ
貴様らが魔法を
駆使するようにな

くっ…

どうしよう…
いくらスライムとは言え、
生身じゃどうすることも…

ギョッ…!!

びしょ…
びしょ…

びしょ…
びしょ…

ひいっ♡
だめえ♡

そんなっ♡
マッサージする
みたいになっ♡

ぷにぷに
しないでええ♡

ずいぶんと
気に入られた
ようだな

まあ
無理もない

新鮮な魔法少女の
肉体は久しぶり
だからなあ

っ…
なによ、それ…!

まるで、そうじゃないのは
いつも味わってるみたいな…





ゆえにお前の同胞も
殺してはおらぬ

奴らは
我らにとって
貴重な家畜

食料兼……
苗床なの
だからな

っ!!

何ですって!!

じゃあ、
捕らえられた
みんなは今頃……

ああ
こうしている間にも
我らの子を孕み、
産み続けておる

っ……
何てこと……!



おっと
仲間の心配を
している場合か？

ひぐうううっ!?

そんなっ♡
締め付けるみたいにつ♡
圧迫するなんてえ♡

中々良いイキっぷりだ
お前は良い母体に
なりそうだ

ひうっ♡
ふざけっ…♡
ひぐううんっ♡

ぞわぞわぞわっ

っ!?
待っ♡

なんれっ♡
とまんにゃっ♡

いつへる♡もっ
いつてうからあ♡

いい加減…っ
ぎゅーっとするのっ♡
止めなひゃいよお♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

良いぞ
そのまま絞り続ける
魔法少女の清い身体に
下劣な快楽を
叩き込んでやるのだ

ひぎゅうううっ♡

ぞわぞわぞわっ♡

くひいいいつ♡

締め付けながら♡
ひっぱらにやいれえ♡
クリの根本っ♡
きゅーってされていくっ♡

そんなにやとこ…
自分でも触ったこと
ないのにいつ♡

いじめるなんて
ひどいよおっ…♡

トドメだ
さらに強く
絞り上げてやれ

ぶるるっ…!!

あああああ!!
あああああ!!
あああああ!!

ぐん!!



と、止まった…？

よかった…
あのまま続いてたら
私…わたし…

魔法少女よ

お前にはこれから
我らの試練に
挑戦してもらう

試練…
ですって…？

ああ

お前にはこれから
我らの待ち受ける
最上階へと
向かってもらう

は

は



道中には貴様の身体を
蹂躪するトラップを
仕込んである

それらに最後まで
屈しなければ
お前の勝ちだ
無傷で解放してやろう

ただし…
屈してしまった場合
大人しく我らの
苗床となってもらう
哀れなお仲間のようにな

っ…!!

いいわ
やってやるわよ!

無事に耐えきって
みんなのことも
助けてみせるんだから!

ひく…
ひく…



威勢が良いな
つくづく堕とすのが
楽しみだ

…ところでお前
今の格好を
自覚しているか？

へ…？

っ…!?
なによこれっ！

ふ、服が
溶けて…!!

おはようございませう♡

試練を受けやすいよう
局部のみスライムで
溶かしてやったのだ

よく似合っているぞ

っ……!

こ、こんな
変態みたいな格好……!
私、魔法少女なのに……!

もう絶対に許せない!
何としても耐え抜いて
ここから脱出
してやるんだから……!



何よこれ？
…小瓶？

明らかに怪しい…
…けど、

2階に昇った私を待ち受けていたのは、閉ざされた鉄の扉…
…そして、その脇にこれ見よがしに置かれた怪しげな小瓶だった。

…どうせ、飲まないって
選択肢はないんでしょ？

クク…その通り

物分かりがよくて
助かるよ

はあ、
仕方ないか…

吐き捨てるように呟いた後、
私は意を決して小瓶の中身を
一気に飲み干した。



扉を開けて部屋に入ると、
抵抗する間もなく触手に両腕を縛られてしまった。

くっ、身動きが…
ほんといい趣味
してるわね

それにしてもあの薬
一体なんだったんだろう…
今のところ身体に影響は
出てないみたいだけど…

警戒している
ようだな…

安心しろ
あれは毒薬の
類ではない

…じゃあ
何だって言うの？
もったいぶらずに
教えなさいよ

即効性だからな、
説明するまでもなく
直に効いてくるだろうが…
…まあ良い



んっ…何？
胸が、熱く…

その薬は少しばかり
身体機能を強化
してやるものだ

平たく言えば
ドーピング剤の
ようなものかな

身体、
機能…？

ホルモンの働きを
促進することによって
特定の機能を強化させる
薬なのだよ

具体的に言うと、
そう……



つきやあああ!?

う、嘘っ...!
こんな...
私の胸が...!?

乳房の肥大、
及び乳腺の発達が
主な効能だ

ふはは、
苗床に似合いの
下品な身体付きに
なったじゃないか

もはやその胸で
魔法少女は
名乗れмайて

っ...!!

ぶ
る
ん!!



ふざけないで！
私は…誇り高い
魔法少女なんだから…！

さっさと
戻しなさいよ
この変態！！

そう喚くな
あの程度の量なら
あくまで変化は
一時的な物だ

搾り切ってしまったら
元の大きさに戻るからな、
せいぜい頑張りたまえ

搾…
ってまさか…！

奴が話し終えるのと同時に、
両胸にお椀のような物が取り付けられた。
そして……

ゆさっ

たふっ

ウー……

ビュッ
ビュッ

いふあ
あああ

ひゅ
るるるる!!



どうだ？
軽く吸われるだけで
母乳が止まらないだろう

あーっ♡
あああーっ！！♡

やだ、なにこれ…！
おっぱい出してるだけなのに
全身ぞくぞくってえ…♡

ひゅるるるっ！

ぶひゃ

くく、話すことすら
ままならぬか

まあ当然だな、
何せあの薬には
催淫剤も配合
してあるからな…

搾られているだけで
気が狂いそうな快感が
全身に走って
いるのではないか？

ひゃ

くっ…この、お…！
ドへんたっ…
ああああんっ♡



憎まれ口を
叩く余裕があるなら
もっと強めても
大丈夫だな

おい、
さらに激しく
吸い上げてやれ

なっ、やめっ…
ひいひいんっ!!♡

ひゅるるるっ!

ぶひゅ

ビュッ

ぶひゅ

だめええ♡

敏感ちくびっ♡
内側から濃厚ミルクで
ずっと擦られてえ♡

こんにゃのっ♡
頭おかしくなるう♡

ひううううっ♡

ひゅるるるっ♡

ビュッ



無様に肥大化した乳を
良いように弄ばれる
気分はどうだ？

魔法少女
アンナよ

っ…
最低の、
気分よ…！

ひゅるっ
ひゅるっ
ひゅるっ

ひゅるっ
ひゅるっ
ひゅるっ

ひゅるっ
ひゅるっ
ひゅるっ

ふむ、
既に快感で
頭がとろけそうに
なっているだろうに…

なかなかの
気力の持ち主だな
ならばこれでどうだ？



ビクッ

…おおおっ!?!♡

今度はなにっ…

ズン
ズン

おっ♡おっ♡
ほおおっ♡
おおおっ♡
おおおっ♡!!♡

イボ付きの、
触手がっ♡
おまんこに♡

この、卑怯者お♡
こんな、一気に
責めるだなんてええ♡
おっほおおおっ♡

人間きの悪いことを
言うんじゃない
我々は善意で
やっているんだぞ？
子宮を刺激すれば
母乳の出が
良くなるからな

っ…何よ、
白々しい…！

びゅんっ♡
ひゅんぶんぶん♡

110
110

110

110

110

しかし面白いな
突かれるたびに
乳を下品に
揺らしおって：

まるで種付け
されている牛の
ようだなあ？

ひああああんっ♡

ビュッ

110

110

110

110

悔しい…
くやしいいい…♡
言い返したいのに…♡

だんだん、頭が…
回らなくなつて…♡
きもちいのに、
塗り潰されちゃっ…♡

はああん…っ！♡

ムンッ
ムンッ

ぶーん♡
たぶっ♡

あっ♡
あぁあっ♡

子宮のおくっ♡
ノックされへえ♡

乳首もミルクで
ずりずり擦られてえ♡

ぬぶっ♡

ひゅっ♡

びゅるるっ♡

110

110

ぬぶっ♡

ぬっ♡

110

110

いいいくうっ♡
まらいくうっ♡

いくのとまんにやい
のおおっ!!♡

くく、
これは早くも
降参かな？

威勢の良いのは
口だけだったか

っ……！

そうだ、ここで
負けちゃったら
私……！

110
ギョ

110
ギョ

110
ギョ

110
ギョ

そん、なわけっ……
ないでしょ……！

私は、正義の
魔法少女……

あんたみたいな魔物に
負けるわけには
いかないんだから……！

ふふ、
そう来なくては

ひにやあああ
ああんっ...!!♡

さあ、さっさと搾り切って
次の試練に移ろうじゃないか
我々も協力してやるぞ

ひん
っ
っ

びゅるるん

110
ぎゅ

110
ぎゅ

110
ぎゅ

110
ぎゅ

分かった、
わかつひやからあ♡

おまんこトントン
しにやいれええ♡

はあ…
ひどい目にあった

まさか搾り終えるまでに
2時間もかかるだなんて…

最上階は…
たしか6階だったかな

うう…
こんなのがあると4種類も
待ち受けてるなんて、
考えただけで気が重く…

何をぼさっとしておるのだ
次の部屋に着いたぞ



…ずいぶんと
細長い部屋ね

部屋って言うより
まるで廊下みたい

扉を開けた先に広がっていたのは、やけに幅の狭い長方形の一室だった。
10mほど先にもう一つ扉が見えるがそれ以外は何も見当たらない。

強いて違和感を
挙げるとすればこの壁ね
触手みたいな手触りで
気味が悪いったら

今回の条件は
ただひとつ

無事に向こう側の
扉へとたどり着き、
この部屋から
脱出することだ

…?
それだけ?

ふん
舐められたものね

どうせまた変態臭い罠が
仕掛けてあるんでしょうけど、
この距離なら
走り抜ければどうとでも…

な……つて
きやああ!?

なっ、
なによこれえ!?

何これ、
どこから出てきたの!?

いや、違う!
ちゃんと実体が伴ってる……!
この一瞬で一体どうやって…

何を狼狽えておる
我々は貴様が嫌がるから
少しでも局部を
隠してやろうとだな…

うるさい!
御託はいいから
何をしたのか
教えないさいよ!

くく…さて、
何をされたん
だろうなあ?

っ…!
はぐらかさないで
ちゃんと…



教えっ…

へああああ…っ!?

なに、なんなの…!?
急に、おまんこにつ
何か…あっ…♡

おやおや
今度は急に
デイルドが
現れたなあ?

ひああああっ♡

ゼンッ

ドクッ

ぬぐぐ…

そう言えば…
こうなる直前
意識が一瞬
途切れたような…?

まさか、
これって…

時間停止
魔法…!?

くく、ご名答
全てはお前の時間を
止めている間に
行ったのだよ

ふざけないで!
こんなの卑怯じゃない!

卑怯? 馬鹿を言うな
時間を動かしている間に
少しずつ進めばいいだけの
話ではないか

無駄を口叩いている
暇があれば少しでも
足を動かせ

さもないと…






~~~~~!!?♡

どんどん不利に  
なっていくぞ?

停止中に受けた刺激は  
解除後一気に  
襲い掛かってくるからな

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ひくぅぅぅ  
ひくぅぅぅ  
ひくぅぅ!!?

だ、だめ…♡  
ちよつとずつでも  
進まないと…!!

でないと、  
こいつの思っ壺に…









おっほおおおおお  
~~~~~っ!!♡

無理いつ!♡
こんなの、足が
震えて、え…♡

んっほおおお
おおおおっ♡♡

おおおおっ♡♡

ビクッ♡
ビクッ♡

ビクッ
ビクッ
ビクッ

っ…
私、いつの間に
倒れて…

って、あれ？
玩具が外されてる…？

なんだもう
ばてたのか

このままでは
一歩も進めぬまま
負けてしまうぞ？

正義の魔法少女が
こんな無様な最期を
迎えていいのか？

うる、さっ…

悔しい、けど…
こいつの言う通り…！

立たなきゃ、
立って進まなきゃ…

幸いデイルドも
ローターも外れてるし
この隙に……





ひいっ
ひいっ
ひいっ!!♡

触手、が…
入っ…♡

どうだ?
無機質な玩具より
弾力のある触手の方が
断然フィットして
気持ち良いだろう

お前の同胞達も
これが好物なんだぞ
暇さえあれば
挿れてほしいと
ねだってくる
ぐらいにな

そんなにや、
わけえっ…♡
んひいっ♡

こんなに馬鹿にされて
黙ってるわけには…
でも、でも…

んいんい♡





らめえへええっ♡

やっぱり無理
らよおおおっ♡

子宮がじんじんしてえっ♡
イクのとまんにやいのおおっ♡

なんだ、
もう降参か？

だったらトドメに
もう一回…

んっほおおお♡

やめっ、もうやめへえ…!!
あたま、ばかになっひや…!!

ひくひくひくんっ♡





しかし物凄い
イキっぷりだな
魔法少女の
名が泣くぞ

もはや声すら
出せぬか

~~~~~っ!!♡

キラッ♡♡♡

キラッ♡♡♡

びくびくびく  
びくびく

ほっ…♡  
んおっ~~~~♡♡♡





…ふむ、  
あまりに一方的過ぎて  
つまらなくなってきたな

仕方ない、  
この部屋は  
もうこの辺りで  
勘弁してやるか

っ♡  
…へう♡  
ほ、ほんとに…？

クワッ…  
クワッ…

ああ、  
本当だとも

立ち上がって  
進むが良い

良かつ…



…なんて  
言うんでも  
思ったか?

ポタッ...

グニョッ

グニョッ

ズンズンズン











ドキドキ♡

ビクッ♡  
ビクッ♡

んほっ♡  
ほっ♡

おんっ...っ♡  
おんっ...っ♡

たふん...

どうだ？  
気を抜いたところに  
叩き込まれる快感は  
格別だろう

ほっおおお  
おおおおお♡  
おおおおお♡

ドキ♡  
ドキ♡  
ドキ♡  
ドキ♡

…ん？  
なんだ、  
気を失ったのか

やれやれ  
本当に一方的な  
戦いになってしまったなあ  
情けない魔法少女だ

だらっ…

ひっ…

ひっ…







気絶から目覚めると、私は謎の機械に拘束されていた。  
奴の口ぶりから察するに、どうやらここは4階らしい。

何のつもり？  
さっきの部屋で私は  
負けたんじゃないの？

それでもよかったが…  
何せ久しぶりの  
客人だからなあ

どうせなら自ら苗床だと  
認めさせたくてな

…！本当に  
悪趣味な奴…！





とは言え、実  
際助かったわね…

あのまま  
負けに扱いになってたら  
きつともう逃げ場は  
なかったでしょうし…

さつきは  
予測不可能な罠だったけど  
幸いこの部屋はそういう  
タイプじゃないみたいだし

今度こそ絶対に  
耐え抜いてやる…!

いいわ!来るなら  
さつきと来なさい!

その選択  
後悔させてや  
るんだから!





そうかい、  
では遠慮なく

ひんっ…!!  
にや、にやに  
これえ…♡

ぷにぷにして  
あったかくてえ…♡

ビクッ

いわゆる  
オナホルの小型版だ  
包み込まれているだけで  
心地良いだろう?

ふぐううう…♡

クイーン

さて、次は挿入…  
といきたいところだが



んむっ!?

予定が狂ったせいで  
下準備がまだだね

せっかくだから  
お前にも手伝って  
もらおうか

ズボッ!

んっ…  
ふむ、んうっ…♡

何これ、まるで…  
お、おちんちん  
みたいな…

いやあ…!!  
女の子の口になんて物  
突っ込んでるのよ…!!

さあ、痛い思いを  
したくなければ  
しっかりしゃぶって  
濡らすのだぞ



では  
お待ちかねの…

んうっ!?!♡  
ふ、う…んっ♡  
ううっううっ!♡

ビュッ

オナホのスイッチを  
入れてやったぞ

敏感な突起を  
容赦なく揉み込まれる  
気分はどうだ?

ふむうううっ!!♡

ググググ…





いやっ♡  
いやああ♡

敏感なところ、  
全部いっしょに  
マッサージするなんて♡  
ずるいよおお♡

ビクッ♡  
ビクッ♡

こんなの♡  
イクっ♡すぐイクっ♡  
イクのっ♡我慢出来る  
わけないっ♡

んむううううっ♡

ググググ...

きゅん♡

きゅん♡

とろろ♡





どれ、  
そろそろいいか

んっ♡  
ひあああんっ♡

枷が外れた  
途端に大絶叫か  
なんともみっともない

やあっ♡らっへっ♡  
こんにゃのおっ♡  
んあああああんっ♡

も、ずっとイキつ  
ぱなひらからあっ♡  
おねがいつ♡とめへえ♡

やれやれ、  
今からデイルドも  
追加だと言うのに  
先が思いやられるな

ちゅぽん

ググググ...

っ…!!



そ、そうだった…!

だめ、え…♡  
クリと、乳首  
揉まれて…♡

それだけで、  
死ぬほど気持ち  
良いのにい…!♡

その上、  
こんな太いの  
挿れられたら…♡

ふぐうううっ…♡  
だめっ♡おねがっ…♡  
それだけ、はあ…!

嫌だと言いつつ膣口は  
既にぐちよぐちよじゃないか  
しゃぶりながら想像して  
期待していたんじゃないのか?

何にせよ敵の  
懇願など…

ひんひん…♡

ググググ…

ああああ♡

はあ あゝ つ♡  
ああ あゝ つん…♡

やはりお前には  
下品な苗床が相応しい

いい加減  
降参したらどうだ？



うる、ひや…  
わらひはあっ♡  
なえどこにやんかじゃ…っ  
んあああああんっ!!♡

やらっ♡なんれえ♡  
スピードが、早くっ…♡

強情な家畜には  
お仕置が必要だからな  
これからは反抗的な  
態度を示すごとに  
責めが強まるものと思え

んひいいいつ♡



もう一度聞けど  
お前は何者だ？

っ…  
わらひはあっ♡  
せいぎの、  
まほうしよう…

んひいいいん♡

…もしかして  
仕置きを期待して  
わざと抵抗しているのか？

やれやれとんだ  
マゾヒストだな

こんなド変態が  
魔法少女など  
世も末だ

ちがっ♡  
そんなにやわけっ♡

あああああ♡





だめえっ♡  
きもちいところ♡  
全部いじめられてえ♡

アンナっ♡  
ばかになりゅっ♡

あたまつ♡  
ふわふわしちゃう♡

だめにやのにつ♡  
飲まれちゃ  
だめなのにつ♡

も、やらあ♡  
クリも♡乳首も♡  
おまんこもお♡  
これ以上  
いじめないれえ♡

ふはは、斬新な命乞いだな  
ならばもっといじめてやろう  
フルパワーモード、オン

ひにやあああっ……♡



くく、どうだ？  
それぞれ一つだけでも  
簡単にイキ狂える  
ほどの快感だろう？

おまえけに  
身じろぎ一つとれず、  
快感を逃す  
ことすらままならず…

いい加減  
気が狂いそう  
なんじゃないか？

うううううんっ♡

こんにゃのっ♡  
ひどいよおお♡

こんなっ♡  
女の子の弱いところ  
全部ぐちゃぐちゃに  
するなんへええ♡

こんなのっ♡  
勝てるわけないっ♡  
負けるっ♡負けひゃうっ♡

いくっ♡またいくっ♡  
きもちいいのっ♡  
また登ってくるっ♡  
あああきひゃううっ♡







イっ……  
あ、あれ……？

なんで、  
止まっ……？

なぜって……  
最大出力にしても  
お前がなかなか音を  
上げないものだから  
潔く諦めたのだよ

この階はお前の  
勝ちだ、良かったな

へ……そんな……  
あと、ちよつとで……

ん？  
あとちよつとで……  
なんだ？

アッ……

っ…な、なんでもないわよ！  
ほら！私の勝ちなんでしょ！？  
さっさと拘束を外してくれる！？

まあ待て  
今外してやる

あ、危なかった…  
私、何を言いかけて…

ギリギリまで高められたまま  
解放されなかった熱がくすぶって、  
全身が熱くて堪らない。

乳首が、クリトリスが、子宮が、  
じくじくと疼いて頭がおかしくなりそうだ。

もはやスカートの衣擦れだけでイきそうなほど  
敏感になった身体を必死で引きずりながら、  
私は4階を後にした。







……  
どうした？  
さっきからやけに  
静かじゃないか

……うるさい  
なんでもないわよ

そうかね  
……ああほら、  
5階に着いたぞ

お前はそこの  
バーに掴まって  
待機していなさい

……？  
今度は一体  
何を……って！？





またデイルド：  
それも、イボイボが付いてて  
さっきのより気持ち良さそ…

い、いや！  
何考えてるのよ！

で？  
この部屋の条件は!?

今回は至って  
シンプルだ

そのデイルドを挿入して  
百回ピストンしたらクリア  
簡単だろう？

……

簡単…  
とは言いたくないけど  
自分のペースで出来る分  
今までの部屋よりは  
まだましかしら



では、  
カウントスタート！

んっ…！♡  
んんっ…！♡

敏感になってる  
おまんこ、イボに  
ゴリゴリられて…っ♡

だめっ♡  
挿れただけでっ…♡  
もう、軽くイっちゃっ…♡

ほらほらどうした  
まだ一回目だぞ

うる、さい…！  
黙って、見てなさっ…  
んんっ！♡

びびっ…





2、3、4…

んっ♡んほっ♡  
んおおっ♡

あぁっ♡しゅごいつ♡  
き、気持ちいいいつ♡  
やっ♡と♡やっ♡とお…♡

5、6、7…

んっ♡んおお  
おおおっ!!♡



おっ♡おっ♡  
おっ♡

25、26…

…一応言っておくが、  
浅くてもゆっくりでも  
一回は一回だからな  
急ぐ必要はないんだぞ

うる、ひゃっ…♡  
わらひはっ…♡  
早く、クリアしたい  
だけで、えっ♡

42  
おっ♡

ほっおっおっおんっ♡

そういうことに  
しておいてやる

32、33…

44  
おっ♡

44  
おっ♡

たろっ  
32、33…

44  
おっ♡

44  
おっ♡

44  
おっ♡



も、もうすぐ  
折返しよねっ♡

ペース…早めた  
方がいいかな

はっ♡

んっ♡んっ♡  
んひいいいっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

き、気持ちいいいっ♡  
もっとなっ…っじゃなくて！

ピストンを早めて  
さっさと終わらせ  
ちゃわないと…！！

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



んっほおおおおっ♡  
おおおおっ♡おおおおっ♡

あああっ♡いくっ♡  
まらいくうっ♡

おまんこ  
イっっちゃうよおおっ♡



はああんっ♡  
気持ち良いっ♡

焦らされたせいでっ♡  
おまんこ気持ち  
良すぎるよお♡

もっ♡  
もっ♡  
もっ♡

86、  
87、  
…

んっほおおおっ♡





99、  
100…

ご苦労だったな  
これで…

ほっおおおおおん♡

おい、終わったぞ？  
止めなくていいのか？

んおおおおお♡

…聞こえてないか





ひぐっ♡  
またおっきいのくるっ♡

あああっ♡  
あっ♡あっ♡

ビュッ

ビュッ

バッ

バッ

バッ

バッ

バッ

バッ

ビュッ

イぐううううっ♡

バッ





はあ…  
は、あ、あれ…?  
カウントは…?

くく、知りたいか?  
今ので162回目だ

へっ…!?  
う、嘘…!

はっ

は

本当だとも

何度もクリアだと  
アナウンスしてやったのに  
それすら聞こえぬほど没頭し  
みっともなく腰を振り続けて…

まるで発情した  
獣のようだったぞ?

っ…!



さ、最低…！  
私、最低だわ…！

いくら身体が  
火照ってたからって  
自分からこんな…！

これじゃあ  
本当にただの  
変態じゃない…！

まあいくら惨めな  
姿を晒そうが  
クリアはクリアだからな

さあ、いよいよ  
次が最後の試練だ

最上階へ  
向かおうじゃないか





最上階に昇りつめた私を待ち受けていたのは、  
壁全体が触手で覆われた気味の悪い部屋だった。

さきほどは貴重な  
見世物があったがとう

魔法少女の  
オナニーショーなど  
早々見られる  
ものではないからな

っ…!!

しかしあそこまで乱れて  
なおも魔法少女としての  
矜持を捨てぬとは…

ますます苗床にするのが  
楽しみになったよ

っ、ほんとと  
悪趣味な奴…!



悪態をつけるのも  
今のうちだ

それでは最後の試練を  
始めさせてもらおうか

っ…何よこれ

触手の先が、  
まるでブラシ  
みたいになってて…

ぬるぬるした液体が…  
塗り込まれて…!!

さて、この責め苦に  
耐えきることが出来れば  
お前はめでたく自由の身だ  
せいぜい頑張るのだな

んっ…♡  
言われ、なくても…  
耐えてやるわよ…!!





15分後

んっ♡  
んっ♡

何…また、  
身体が熱く…

ふむ…  
そろそろ効いてきた頃だろう  
調子はいかがかな？

まさか、これ…  
さっきの…！

お察しの通り

搾乳部屋の薬に  
配合していた  
催淫剤の正体だよ

我らの体液には  
催淫効果があるのだ

たっぷりと粘膜吸収  
させてもらったからな…  
身体が火照って  
たまらないだろう？

くちゅ♡

ふっふい

くちゅ♡

つくう…！

まだ反抗するか  
本当に気の強い奴だ

ああっ!!♡

ふ  
や  
っ♡

ぬちゅ

ぬちゅ

ちゅ

くく  
ハケを押し付け  
られただけで  
この悶え様…

包み込んで  
こねくり回して  
やったらどうなるかな?

なっ…  
やめっ…!!

さて、  
クリトリスと乳首…  
どちらを先にいじめて  
やるとするか…

だめっ、来るっ…!!  
こんな状態で  
まともに刺激されたら  
今度こそひとたまりも…!!

せめてこの二か所に  
意識を集中して、  
どうにか堪えなきゃ…





…と、  
肝心なところを  
忘れておったな

は、

えっ…？

フリ  
アムレ



~~~~~っ!!?

粘膜吸収と言えは
ここを忘れてはいかんからな
さあ、奥の方まで
しっかり塗り込んでやろう

ひっ♡おっ??♡
ほっ??おおっ♡♡

おっ!?!おっ...
ほおおっ~~~~っ!!♡

んおお~~~~っ!!♡

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

はっちゅ

ひ、ひきよお
ものおお♡

油断させておいてえ♡
こんにゃのおお♡

はて…
何のことだか
分からんなあ

あっ♡あひい♡
ひいあっ♡
あああっ♡

ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ



忘れていた詫びに
ひだとひだ間に至るまで
あますことなく
塗り込んでやるからな

やめっ♡やめひえ♡
あたま、とろけちゃう♡

きもちいのでっ♡
いっぱいになりゆう♡♡

それは何よりだ
さて、仕上げに…





おっ♡おほっ♡
おほおっ♡

どうだ？
発情しきった子宮を
ノックされる気分は

獣のように
みっともない声を上げて…
みじめだなあ？
魔法少女よ

おっ♡
やっ、いやあ…♡
っほおっおっ♡

やだやだっ♡
やだああっ♡

やなのにいっ♡
下品な声っ♡
止まらないよお♡



だめっ♡もうっ♡
きもちよすぎてっ♡
あたまばかになってる♡

おまんこ気持ち
良すぎるよおお…♡

あああゝっ！♡
らめええっ♡

敏感おまんこ
ぐちゃぐちゃ
かき混ぜないでえっ♡

いい、イクうっ♡
イクのとまん
にゃいのおおっ♡

ああああっ♡
まらいつひやうう♡



トドメだ
思う存分
イキ狂うが良い

んっほおおおお♡

ちくびっ♡クリもおお♡
こねこねだめえええ♡

らめっ♡
ばかになっひやうう♡

もう、
きもちいいことしか
考えられないっ♡

アンナ：
魔法少女失格のっ♡
ド変態になっちやうよおお♡

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ド変態？

違うな
お前はもはや
人間ですらない

我らの家畜…
…苗床に
なるのだからな

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ひぐううううう♡
子宮突きあげながらっ♡
勃起乳首とクリちゃん
シコシコおお♡

こ、こんなの…
ずるいっ♡

勝てるわけ
ないよおお…♡

んゝんゝんゝんゝ♡

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

さあアンナよ
まだ抵抗
するつもりか？

ひっ…

あっ…

ひっ…

抵抗…？
あれ…私、なんで
逆らってたんだっけ…？

こんな気持ち良いこと
してもらえるのに、
どうして
嫌がってたんだろう…♡

…どうやら意思は
固まったようだな

改めて問おう
元・魔法少女アンナよ

我らの苗床に
なってくれるな？

なるっなるう♡
なりますっ♡

アンナ、魔法少女から
苗床にジョブチェンジ
しちゃいましたあ♡♡

触手の…触手様の
赤ちゃん生ませてっ♡
孕ませてくらひゃいい♡

ぞわぞわぞわっ

ふむ
良い返事だ

褒美にたっぷりと
種付けしてやろう

んっほお
おおっおお♡♡

ビュウッ

ドゾゾッ

堕ちた魔法少女よ…
これからはその卑しい身体、
我らが有効活用してやろう

魔法少女に戻りたいなどと
一瞬でも考えられないぐらい
たっぷりとな

え、えへへ…♡
ありがとう
ございます♡

アンナ、
触手のママになれるよう…
精一杯がんばります♡



一ヶ月後

あっ♡
へっ♡

おへえ♡





ふむ：

腹も膨れて一段と
苗床らしい身体付きに
なってきたじゃないか

この調子だと
来週には
生まれそうだな

ひあっ♡
ほひっ♡

ドンッ

ビュッ

ひゅー

ひゅー

ひゅー

ひゅー

どれ：
スムーズに出産
出来るよう、
少し手伝ってやるか

んひひひひっ♡

プリ
ン
グ

42
ホッ

42
ホッ

42
ホッ

42
ホッ

子宮口を
揉み解される
気分はどうだ？

出産当日まで
毎日マッサージして
やるからな、
ありがたく思えよ

はひい♡
あっ、りがとうっ♡
ごひやいまひゅ♡



しかしまだ
生まれてすらいらないのに
凄い母乳の量だな

あっ♡
ごめんなひゃっ♡

おっぱいっ♡
馬鹿になってて♡
ごめんなひゃい♡

はひいんっ♡

なに、
母体が健康なのは
良いことだ
その方が丈夫な子が
産めるからな

はひいんっ♡



今孕んでいる子が生まれ次第
二匹目の仕込みを始めるからな
せいぜい頑張ってくれたまえ

はは
ひへ
いっ
い♡
♡

アンリっ♡
一人前の
苗床になれるよう…

せいっぱい
がんばりますう♡



うむ、
良い返事だ

えへっ♡

アンリ、
いっぱい
がんばるからあ♡

ちゃんと、
元気な子が
産めたらっ♡

また、たーっぷり
種付けして
くださいね♡

…ああ、
もちろんだ

期待しているぞ
元・魔法少女よ



















































































































































































































